

「いじめといのちについて考える日 2」～乱暴な言葉や行動について考える～

今日は特別にお昼休みに時間をもらって、1学期2回目の「いじめといのちについて考える日」のお話をさせていただきます。今日のお話は、「乱暴な言葉や行動は絶対にやめよう」というお話です。

校長先生はみなさんに、姫島小学校のみなさんは「優しい子」でいてください。姫島小学校は「優しい子」がたくさんいる温かい学校でありたいです。---と、たびたびお話しています。それは校長先生のいつも変わらない思いですが、今日のお話の「乱暴な言葉や行動」は、校長先生が思う「優しい子」とは反対のことだと思うし、いじめにつながる言葉や行動だと考えるので、絶対にやめてほしいです。

では、校長先生が絶対にやめてほしいと思っている乱暴な言葉って、どのような言葉でしょう。校長先生がこうして集会の場で口にするべきか迷ってしまうような言葉ですが、あいまいな話では意味がないので、口にしてみます。

例えば、「死ぬ」「殺す」---まさか本当にそう思っているわけではないと思いますが、命に係わる言葉です。簡単に口に出せる言葉ではありません。「きもい」「きしょい」---人を否定する言葉です。これも簡単に口に出せる言葉ではありません。ほかには人を馬鹿にしてあおるようなことば。

命に係わる言葉・人を否定する言葉・人を馬鹿にしてあおる言葉。そんな言葉を自分に言われたらとても嫌な気持ちになります。人が言われているのをきいてもとても嫌な気持ちになります。軽い気持ちでつかうことは絶対にやめてください。

では、乱暴な行動はどうでしょうか。なぐる、ける、ものをぶつける、持ち物にいたずらをする、持ち物をかくす。ほかにもいろいろ。乱暴な言葉と同じです。そんな行動を自分にされたらとても嫌な気持ちになります。人がされているのを見てもとても嫌な気持ちになります。軽い気持ちですることば絶対にやめてください。

校長先生は、姫島小学校には「優しい子」がたくさんいると思います。だけど、残念なことに、この頃、軽い気持ちで乱暴な言葉を言ったり乱暴な行動をしてしまったりする話をよくききます。とても嫌だな、いけないことだなと思ったので、今日のお話をさせていただきました。

この後、担任の先生からのお話をよくきいて、みんなで乱暴な言葉や乱暴な行動がない姫島小学校にしていきましょう。